

保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領より

幼児期の終わりまでに育ってほしい

10 の 姿

「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5領域の内容を踏まえて、資質・能力を育成することから、5歳児後半までに育って欲しい子どもの具体的な姿を明確にしています。

「姿」というのは、様々な活動の中に表れる、子どもの様子を具体的に示したものであって、10の項目それぞれを、別個に取り出して指導するためのものではありません。

子どもの自発的な活動としての遊びを中心とした、幼児教育を通じて「10の姿」が育っていき、更に、小学校入学以降も、育ち続ける事を目指しています。

つまり、実現していこうとするこの姿は、5歳児後半にいきなり出現するものではなく、また、幼児期の終わり迄に完成するというものでもありません。

3歳、4歳を含む、長い育ちの中で、その姿は現れ、小学校以降も育ち続けていくのです。

それぞれの、成長の時期に合った、毎日の指導の積み重ねが、その姿につながっていくことを忘れてはいけません。

保育者と小学校の教師が、「幼児期の終わり迄に育って欲しい姿」を共有することで、幼児教育と小学校教育との接続や、その後の指導が、スムーズに行われることも目指しています。



幼児教育

① 健康な心と体

② 自立心

③ 協同性

④ 道徳性

⑤ 社会生活との関わり

規範意識の芽生え

⑥ 思考力の芽生え

⑦ 数量や図形

標識や文字などへの
関心・感覚

⑧ 自然との

関わり・生命の尊重

⑨ 言葉による = 伝え合い

⑩ 豊かな感性と = 表現

小学校教育

年 齢 別 目 標

年齢 (月齢)	目 標
6カ月未満	<ul style="list-style-type: none"> ・心地良い環境の中で、保育士の愛情と世話を受けて健やかに過ごす。
6カ月～ 1歳3カ月未満	<ul style="list-style-type: none"> ・心地良い環境の中で、保育者の関わりを喜び、安定して遊ぶ。
1歳3カ月～ 2歳未満	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士や友達とのふれあいを楽しみ、たのしく遊ぶ
2 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士や友達と楽しく遊ぶ ・保育士と一緒に身の回りのことを自分でしようとする。
3 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に必要な事を保育士の手助けを得ながら自分でしようとする。 ・一人一人の子どもが楽しく、主体的に活動しようとする。 ・友達との関わりを持ちながら、いろいろな経験や活動を楽しむ。 ・遊びや生活の中で、自分のしたいことや感じたことを言葉で伝えたり、表現したりする。
4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることに喜びを持ちながら、日常生活に必要な習慣や態度を身につける。 ・友達とのつながりを広げ、集団で生活することを楽しむ。 ・遊びや経験を通して感じたことや思ったことなどを様々な方法で自由に表現する。
5・6歳	<ul style="list-style-type: none"> ・健康、安全など生活に必要な習慣や態度を身につける。 ・様々な人との関わりの中で相手の立場を考えて行動したり、愛情や信頼感を持つ。 ・身近な自然や環境に自ら関わることで、生活体験を広げ様々な面白さ、不思議さ、美しさ、尊さなどを感じる。 ・遊びや経験を通して感じたこと、想像したことを自由な方法で、様々な表現をして楽しむ。